

今井登志喜 軍国主義下の困難な時代に、アカデミー正統派の西洋史学を維持確立し、都市発達史にも大きな業績。

いまいとしき

帝国大学始・1886 = 長野県諏訪郡平野村(岡谷市)で、養蚕を主とする農家に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 3歳 :

父は教職も経験した知識人ながら、家庭の事情の芳しく無いなか、

日清戦争始・1894 = 8歳 :

日清戦争終・1895 = **9歳** :

小学校での成績は抜群で、

ビブ国産化・1900 = 14歳 : 諏訪中学に入学、

読書を好む一方、談論巧みな豪放な性格で人気、

日露戦争始・1904 = **18歳** :

日露戦争終・1905 = 19歳 :

卒業し、厳しい家計ながら、第一高等学校に進学。
辰野隆・谷崎潤一郎ら同期生とともに、全寮制への反対運動なども経験、

アヲ 創刊・1908 = 22歳 :

*東京帝国大学文科大学史学科に入学し、日本人西洋史学者一代目の箕作元八・坪井九馬三のもとに学ぶ。
この年諏訪郡で計画された稀有な事業、郡史編纂の主任に委嘱されると、大胆な案を示して取組み開始。

大逆事件判決1911 = 25歳 : 卒業。

明治天皇没・1912 = 26歳 :

第一次大戦始1914 = **27歳** :

本格政党内閣1918 = 31歳 : 第一高等学校教授。

原敬首相暗殺1921 = 34歳 :

関東大震災・1923 = **36歳** :

*東京帝国大学助教授、以後アカデミーの中心を占め続ける。

護憲三派圧勝1924 = 37歳 :

鳥居籠蔵担当の「諏訪郡史第一巻」がようやく刊行。

金融恐慌・・1927 = 40歳 : この年の講義に「英国社会史」のタイトルをつけるなど、都市史を社会的観点から考察して行く。

満州事変・・1931 = 44歳 :

五一五事件・1932 = **45歳** :

日中戦争始・1937 = 50歳 :

*蠟山政道・東畑精一らとともに発起人となって{都市学会}を設立、高山英華・木内信蔵・磯村英一ら戦後の指導者が育って行く。

健保+総動員 1938 = 51歳 :

大内兵衛らが休職処分となった"東大経済学部事件"など、大学自治が侵されて行くなか、

第二次大戦始1939 = 52歳 :

文学部長となり、自治擁護のため、執行部の一員としてバランスのとれた解決に尽力。

日米開戦・・1941 = **54歳** :

敗戦・・・1945 = 58歳 :

新憲法施行・1947 = 60歳 : *東大を定年退官。

三大事件・・1949 = **63歳** :

朝鮮戦争始・1950 = 64歳 :

没した。

没後、「都市発達史研究」「都市の発達史-近世における繁栄中心の移動」が教え子たちによって刊行され、今井案による「諏訪郡史」も編纂が続けられて4年後に完結する。